

第75回 通常総代会議案書

日時：2016年5月26日(木)午後6時15分～午後8時
(受付 午後5時30分開始)

場所：オリーブスクエア2階 多目的ホール

議題：第1号議案 2015年度事業報告・決算関係書類承認の件
第2号議案 2016年度事業計画及び予算決定の件
第3号議案 他団体への加入・脱退に関し理事会の議決事項とする範囲決定の件
第4号議案 役員報酬決定の件
第5号議案 第53期(2016年度)役員選出の件
第6号議案 議案決議効力発生の件

香川大学生生活協同組合

〒760-0016 高松市幸町1-1

TEL087-835-3120

第1号議案 2015年度事業報告・決算関係書類等承認の件

【1】2015年度活動のふりかえり

2015年度は、下記の重点で取り組みました。

- ① 店舗活動への組合員参加・参画の強化を進める中で事業拡大をはかる。
学びと成長事業／公務員講座（価格・内容の見直し）・就活事業への取り組みの検討
英語講座や語学海外研修の取り組み
食育事業／ミールカード普及拡大（医学部生も）、朝食利用増
参加学生委員会・理事会委員会（店舗委員会・50周年PJ）
- ② 農学部ショップ・医学部食堂のオープンを成功させる
- ③ 空海店を中心に供給高アップ／広報強化と50周年企画で来店数増を図る
供給高伸長での剰余確保、
- ④ 住まい事業／医・農・工学部周辺物件増、管理事業の強化
- ⑤ 管理運営強化／資金は金融機関からの借入（5年程度）、自己資本強化、整備（マニュアル・規定等）

●2015年度振り返り

- ① 大学会館に続き、4月1日、農学部池戸会館の改修による農学部ショップ「Harvest」の新装開店、生協店舗の無かった医学部に生協食堂「ぼなべてい」の2店舗がオープンしました。
また、大学会館食堂ホールの照明及び天井の改修が2016年2月～3月に行われました。
施設投資が2年続きましたが、店舗環境は前進し、組合員サービスも向上しました。
- ② 2015年度新学期事業は、前年に続き、住まい紹介、ミールカードを中心に据えて、パソコン総合サポート、英語講座、生協ICマネーを提案し、ミールカード・ICマネー利用者が増えました。
ミールカードとICマネー利用者増は、生協の資金繰りの改善でも貢献しています。
- ③ 英語講座のシドニー研修やディズニー留学などを取り扱うために、海外旅行（第3種）事業を開始しました。キャリア支援グループの業務委託「個別企業説明会」の業務も開始しました。
- ④ 新医学部食堂の計画を上回る利用と、ミールカード利用者の増で食堂事業は大きく伸長しましたが、前年度分も含めたミールカード値引を約1,700万円行いました。
ショップは、食品類（特に食堂内製商品）の利用が伸びましたが、大学校費分類が厳しく、前年並の供給高となりました。校費減は、工学部ショップが大きく影響を受けました。
書籍分類は、テキストを中心に、経済・経営書、一般書、雑誌、洋書が伸長しました。
- ⑤ 医学部食堂・農学部ショップの施設・備品投資が、前年の大学会館の投資に追加されるため、損益予算は前年並の赤字予算を組んでいましたが、食堂の利用が計画の約1.5倍伸長したため、経常剰余額は約半分の赤字に収まりました。前期累積損失金2,576万円に、当期損失金1,686万円が追加し、計4,262万円の当期末処分損失となりました。
- ⑥ 2015年度は創立50周年でした。1月に全店で50周年記念として利用還元企画等を行いました。
- ⑦ 運営の面では、人手不足の影響を受け、食堂部はパート職員の欠員状態が続きました。正規職員を増員しましたが、残業が恒常化しています。
- ⑧ 学生委員会は、今年も「新入生の集い」「共済活動」などの活動を行ってきましたが、新学期活動に偏っており、日常的な活動が課題です。一方、PC総合サポート・公務員講座・英語講座・新入生サポートセンターなどに多くの学生が参加し、先輩から後輩へのサポート等を頑張っています。
- ⑨ 理事会は年10回開催し、「知らせる活動」の強化や施設改善への投資・経営問題を協議しています。また、大学学生部と会議を行い、今後協議会（仮名）を定期的で開催することになりました。

【2】2015年度決算報告

1. 損益報告

1) 供給高・供給値引

総供給高：9億6,916万円

(前年比14.4%、予算比4.7%)

医学部新食堂と改修2年目の大学会館食堂の利用が増え、前年度より1億,2,200万円の供給高増でした。

● **ショップ合計** 6億4,258万円

(前年比1.17% 予算比△1.49%)

- ・分類別では、食品類が12%伸び、中でも内製弁当類は30%伸長です。機器・PCソフトなど校費利用が多い分類は2桁の前年割れでした。

書籍分類は教科書が伸び、7%伸

長し、講座類は△8%の減でした。

海外旅行(研修パック旅行)の受付を開始した旅行分野は134%伸長しました。

ICマネー利用を強化し、824万円のポイント還元を行いました。

- ・店舗別では、学館ショップ 4億3,539万円(前年5% 予算比2% ↑)、農学ショップ 6,172万円(2% ↑ / △4% ↓)、工学ショップ 1億4,551万円(△9% / △11% ↓)でした。

● **食堂部** 3億2,658万円の供給高(前年比54.2% ↑、予算比19.6% ↑)

- ・医学部食堂の菓子弁当等コンビニ類1,554万円を含む7,000万円の供給高が上乗せできました。またミールカード利用者が増え、食堂全店が前年を上回りました。

- ・商品別ではミールカード朝食お得+300円提案で、朝食利用が172%伸長しました。

- ・原材料の高騰で1部メニューの値上げを実施しましたが、食材の値上がりは続いています。

- ・ポイント還元271万円を行い、総供給高から引いています。

- ・店舗別では、学館店(加工含む)1億8233万円(前年比28%/予算比12% ↑)、農学店2506万円(9%/26% ↑)、工学店4934万円(7%/10% ↑)、医学店7000万円(-/10% ↑)です。

供給値引：1,976万円(前年14.4%増)

- ・内訳は、ショップ系(書籍割引・食品などの値引)274万円、食堂のミールカード利用値引1,700万円です。食堂の値引は前年度分含めた2年分の計上です。

- ・総供給高で減算計上しているICマネーのポイント還元も実質は値引です。ポイント還元：ショップ824万円(円)、食堂271万円(円)しました。

2) 事業総剰余金 3億3,700万円

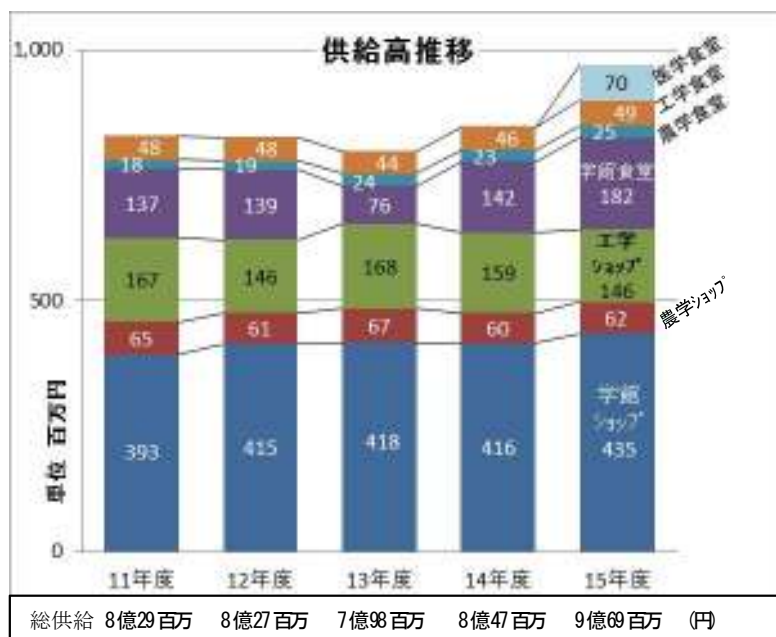
(前年比17.3%/ 予算比9.9% ↑)

供給剰余金：2億8,913万円(20%増)

- ・食堂の供給伸長で荒利益率も伸長(28.4%→29.8%)しました。

その他事業収入：4,066万円

(前年0.1%増) 住まい事業収入など主に斡旋・手数料関係の収入です。



比較損益計算書

(単位 千円)

勘定科目	2015年度	予算	予算比	2014年度	前年比
総供給高	969,164	925,462	4.7%	846,993	14.4%
供給値引	19,764	2,502	689.9%	2,368	734.7%
供給高	949,400	922,960	2.9%	844,625	12.4%
供給剰余金	289,133	258,518	11.8%	240,214	20.4%
その他事業収入	47,863	48,090	-0.5%	47,075	1.7%
事業総剰余金	336,997	306,608	9.9%	287,289	17.3%
人件費合計	194,083	193,481	0.3%	166,422	16.6%
物件費合計	164,412	154,690	6.3%	167,975	-2.1%
事業経費合計	358,495	348,171	3.0%	334,397	7.2%
事業剰余金	△ 21,499	△ 41,563	-48.3%	△ 47,109	-54.4%
事業外収益	1,225	830	47.6%	3,191	-61.6%
事業外費用	1,720	760	126.3%	280	352.5%
経常剰余金	△ 21,994	△ 41,493	-47.0%	△ 44,297	-50.4%
特別損益	0	0		△ 3,603	
税引前当期剰余金	△ 21,994	△ 41,493	-47.0%	△ 47,900	-54.1%
法人税等	770	770		770	0.0%
法人税等調整額	△ 5,908	0		△ 3,581	65.0%
当期剰余金	△ 16,856	△ 42,263	-60.1%	△ 45,090	-62.6%
繰越剰余金	△ 25,759	△ 25,759		9,331	-376.1%
当期末処分剰余金	△ 42,615	△ 68,022	-37.4%	△ 35,759	19.2%

- 共済受託手数料**：720万円(11%増)共済加入者増で手数料も増えました。
- 3) **総経費**：3億5,845万円(前年比7.2%・1,032万円増、予算比2.9%増)
人件費：1億9,408万円(前年比16.6%・2,766万円増、予算比0.3%増)
 新医学食堂で1,468万円増加し、さらに8月より正規職員2名増員しました。食堂部の慢性的な人手不足は続いています。
- 物件費**：1億6,641万円(前年比△2.1%・△365万円、予算比6.2%増)
 医学食堂の投資と計画以上の利用で、消耗品や水道光熱費が増え、創立50周年記念セール賞品などが予算をオーバーしています。
- 4) **事業剰余金**：△2,150万円(事業総剰余金33,700千円から総経費35,850千円を引いたもの)
 大学会館・医学食堂の施設投資(減価償却費等)が大きく、利用は伸長しましたが赤字です。
 総経費が1,032万円予算超過しましたが、供給剰余高も予算超過3,039万円したため、予算より2,006万円赤字が少ない結果になりました。
- 5) **事業外損益**
事業外収益113万円の内訳は、受取利息3万円、受取配当金3万円、雑収入107万円
 雑収入の内訳は、保険関連収入73万円、勘定科目整理益23万円、その他10万円
事業外費用172万円の内訳は、支払利息8万円、雑損失164万円。
 雑損失の内訳は、商品(書籍)廃棄80万円、供給未収金整理損78万円、その他6万円
- 6) **経常剰余・税引前当期剰余金** △2,200万円
- 7) **当期剰損失金**：法人税等77万円、法人税等調整額△591万円を計上、結果1,686万円です。
- 8) **当期末処分損失金**：前期繰越損失金2,576万円に当期損失金1,686万円を加え、計4,262万円が当期末処分損失額となり、次期に引き継がれます。

2. 財務報告(2016年2月29日現在)

- 1) 資産合計は、3億5,603万円で、前年度末より5,159万円減少しました。
 ・流動資産は、1億7,157万円で、4,189万円減少しました。
 現預金が4,825万円減っています。前年度末の3000万円の短期借入金は、当期末は0です。
 ・固定資産は1億8,447万円で、前年度より970万円減少しました。医学部食堂等への新規投資(施設及び備品合計3,077万円)より、減価償却累計額が増加しました。
- 2) 負債合計は、2億8,499万円で前年度末より4,282万円減少しました。
 ・買掛金は5,978万円の減です。前年度末は中四国事業連合支払を遅らせる延納制度を利用しましたが、当期末はしていません。また短期借入金も0円となっています。
 ・マイルカード・ICマネー利用者が増え、前受金が2,384万円増加しました。
- 3) 純資産合計は、7105万円で、前年度末より877万円減少しています。
 ・新入生への要請出資金2万円変更2年目のため、組合員出資金は808万円増額しています。

比較貸借対照表											
資産の部	2015年度	構成比	2014年度	構成比	増減	負債・資本の部	2015年度	構成比	2014年度	構成比	増減
(資産の部)						(負債の部)					
流動資産	171,565	48	213,459	52	△41,894	流動負債	226,932	64	273,631	67	△46,698
現金預金	83,945	24	132,193	32	△48,249	買掛金	61,548	17	121,327	30	△59,780
供給未収金	26,359	7	29,584	7	△3,224	短期借入金	0	0	30,000	7	△30,000
商品	31,031	9	24,074	6	6,957	前受金	98,534	28	74,695	18	23,839
未収金	20,227	6	19,779	5	448	預り金	34,410	10	28,807	7	5,603
その他流動資産	10,002	3	7,829	2	2,174	その他流動負債	32,440	9	18,800	5	13,639
						固定負債	58,053	16	54,171	13	3,881
固定資産	184,469	52	194,165	48	△9,696	負債合計	284,985	80	327,802	80	△42,817
有形固定資産	85,733	24	90,671	22	△4,939	(純資産の部)					
建物及び附属設備	27,940	8	18,065	4	9,874	組合員資本	71,049	20	79,822	20	△8,773
車両運搬具	351	0.1	930	0.2	△579	出資金	113,664	32	105,581	26	8,083
器具備品	57,442	16	65,916	16	△8,474	剰余金	△42,615	△12	△25,759	△6	△16,856
建設仮勘定	0	0	5,760	1	△5,760	法定準備金他	0	0	10,000	2	△10,000
無形固定資産	1,596	0	1,596	0	0	当期末処分剰余金	△42,615	△12	△35,759	△9	△6,856
その他固定資産	97,141	27	101,898	25	△4,757	(うち当期剰余金)	(△16,856)	△5	(△45,090)	△11	28,234
						純資産合計	71,049	20	79,822	20	△8,773
資産合計	356,034	100	407,624	100	△51,590	負債・資本合計	356,034	100	407,624	100	△51,590

監査報告書

香川大学生生活協同組合
理事長 寺林 優 殿

私たち監事は、2015年3月1日から2016年2月29日までの理事の職務の執行を監査いたしました。2015年度の財産ならびに業務の執行状況について、監査した結果、次の通り報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、監査基準に準拠して、他の監事と情報の交換を図るほか、理事その他職員と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、貴生協の業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基き、当該事業年度に係る事業報告書及びその付属説明書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- 1) 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な行為は認められません。

(2) 決算関係書類（損失処理案を除く）及びその付属明細書の監査結果

決算関係書類(損失処理案を除く)及びその付属明細書は、組合の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示していると認めます。

(3) 損失処理案の監査結果

損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2016年5月20日

香川大学生生活協同組合

監事 堤 英敬

監事 宮下 真来枝

監事 田畑 諒

第2号議案 2016年度事業活動計画及び予算案承認の件

【1】2016年度事業活動方針

●生協をめぐる環境

社会・経済 マイナンバー制度の開始、コンプライアンス等の整備と強化が問われる。

続く人手不足（賃金アップ、労働環境等の整備）

2017年4月消費税率10%の予定

大学環境 香川大学 第3次中期計画スタート「地域貢献」「グローバル化」の取組み強化。

きびしい大学財政状況の中での収入増（支出減）への取組みが強化、

AO入試の開始、入学手続方法の変更（郵送）

組合員 就活日程の変更・求人増、グローバル化（留学生）

アルバイト収入で自活の学生増 親元収入は伸び悩み（2極化）

厳しい研究費、産官学の提携強化

生協事業： 投資分の償却費用と累積赤字で厳しい経営

増える大学の委託業務、大学広報や学生サポートへの大学の期待

●2016年度の重点課題

組織活動及び運営

- 基本運営を強化する。「知り・知らせ・考え・話し合う」を基本に
総代選出100%、総代会参加率50%、組合員会議や総代会議開催を行います。
理事会から職員・学生委員会まで、情報の共有化を強めるための諸会議運営を重視します。
組合員参加の食育・安全・安心活動等取組みを行い、組合員参加の場を広げる
大学教職員や大学との懇談会等を開き、生協の取組みを知らせ、理解を広げる。

事業活動

- 「学びと成長」「食育」事業を中心に、事業拡大と整理を進めます。
 - 食堂部：ミールカード利用者を増やし組合員の食生活の安定と充実をはかる。
食育活動とその発信を強める
運営整理(日常体制の整備)、安全安心の運営（労務管理含）
ハラル風メニューの提供など、留学生対応を進める。
 - ショップ：新学期・3店舗・校費・講座など運営を整備し 組合員への広報・提案力を強化
新学期：提案力・広報を強化、住まい事業の強化とサポーターの質量アップ
店舗：提案力と商品展開…パート力、学生参加
受付業務・校費の整備
 - 学び：受講者の夢実現を大切に、スタッフ・サポーターの力量アップ
キャリア支援事業など強化する
住まい事業：工農医の物件
- 本部：内部牽制制度等も含めた業務の整備・確立（法令等遵守）
生協法・宅建等業法・労働法等への対応／大学委託業務等の整理

●課題別方針

- ①（利用強化）「学びと成長」「食育」事業を中心に、事業拡大と整理を進めます。
 - ・店舗ごとのコンセプトと強化点を決め、商品や運営に反映させます。
 - ・店舗企画を強め、変化と活気ある店舗づくりをすすめます。
 - ・広報活動の強化を進めます…電子媒体（マルコ・ホームページ）の強化。
- ②（組織強化）多くの学生組合員の参加・参画の場を広げます。
 - ・学生が参加する企画開催や他団体の企画の協力を生協らしく強めます。
 - ・一言カード等、組合員の声を聞き、組合員の声を実現する取り組みを行います。
 - ・学生委員会の日常活動の取り組みを、店舗や共済活動を通じて強めます。
 - ・教職員の利用の場を広げていくとともに、組合員加入・増資の取り組みを行います。
 - ・学生総合共済・保険の加入者を増やし、助け合いの輪を広げます。
- ③（新学期事業）年間を通じて新学期活動に取り組みます。
 - ・新入生・保護者の大学生活への思いを分析し、情報提供・生活提案を強めます
 - ・住生活事業の拡大…管理事業のマニュアル化と物件拡大を追求
 - ・新学期サポーターの拡大・強化・成長を追求します。
- ④（大学等関係）学生の笑顔・元気で「香川大学力」アップに貢献します。
 - ・大学ブランドの商品づくりを進めます
 - ・地域の人々や企業等との関係づくりを検討します。
 - ・大学に情報と提案できる力量アップの中で大学のアウトソーシング対応
- ⑤（職員教育）生協職員の基礎力アップを強めます。
 - ・パート職員も含む基礎技術（商品知識・店舗づくり・経営数値理解）研修の実施
 - ・組合員から情報収集、情報提供するために、情報の共有化を強めます。
 - ・適正人員確保に努力し、学生アルバイトの活用を強化します。
- ⑥（経営改善）
 - ・計画の執行・数値改善にこだわる運営をすすめます。
 - ・コンプライアンス経営のための整備を進めます。

【2】2016年度予算案

1. 総供給高予算は、前年並の9億6643万円です

	店別供給予算		
	2015	2016予算	前年比
ショップ空海	435,349	436,658	0.3%
農学ショップ	61,722	63,337	2.6%
工学ショップ	145,511	138,600	-4.7%
ショップ計	642,582	638,595	-0.6%
食堂 空海	182,328	184,582	1.2%
農学食堂	25,060	24,558	-2.0%
工学食堂	49,344	48,151	-2.4%
ぼなぺてい	69,850	70,544	1.0%
食堂計	326,582	327,835	0.4%
総計	969,164	966,430	-0.3%

- ・ショップは、6億3,860万円で、前年比△0.6%。校費利用の業務整理を行うため、工学部は供給高を前年割れで組みました。
- ・食堂は、春休み等の休みの利用を厳しくみて、前年並の予算としています。

2. 供給剰余・その他事業収入 3億3,500万円

- ・供給剰余は2億8,510万円
- ・その他事業収入は、4,990万円。
住まい事業の管理事業強化で4,310万円、
共済手数料680万円

3. 総経費 3億4,271万円（前年比△1,578万円）

人件費 2億6,11万円（前年比1,202万円増）
物件費 1億3,660万円（前年比△2,780万円）
消耗品費 前年比△1,347万円
減価償却費 前年比△1,290万円
供給高伸長が厳しいため、経費は押さえて計画しています。

4. 事業剰余 △771万円の赤字です。

5. 事業外収支

事業外収益：雑収入 前年比153万円増
保険取扱手数料等の増加で予算化
事業外費用 支払利息 前年比△144万円

6. 経常剰余 △518万円

7. 当期剰余 △598万円

2016年度損益予算 単位(千円)

勘定科目	2015年度	2016年度 予算	前年比
供給高	969,164	966,430	△ 0.0
供給値引	19,764	14,412	△ 0.3
純供給高	949,400	952,018	0.0
供給総剰余金	289,133	285,102	△ 0.0
その他事業手数料収入	40,663	43,100	0.1
共済受託手数料収入	7,200	6,800	△ 0.1
その他事業収入計	47,863	49,900	0.0
事業総剰余	336,997	335,002	△ 0.0
役員報酬	7,981	8,280	0.0
職員給与	44,796	42,568	△ 0.0
定時職員給与	122,254	133,808	0.1
退職給付費用	3,942	3,896	△ 0.0
法定福利費	9,512	12,643	0.3
福利厚生費	2,358	3,413	0.4
役員退職給与引当金繰	688	700	0.0
賞与引当金繰入損	2,550	800	△ 0.7
人件費合計	194,083	206,108	0.1
教育文化費	1,576	1,160	△ 0.3
広報報費	10,827	8,839	△ 0.2
事務消耗品費	27,892	14,424	△ 0.5
物流費	3,470	3,500	0.0
車輜運搬費	1,559	1,246	△ 0.2
貸倒引当金繰入額	0	50	
ポイント引当金繰入	0	0	
施設維持管理費	7,598	5,852	△ 0.2
減価償却費	29,952	17,052	△ 0.4
賃借料	1,214	1,084	△ 0.1
水道光熱費	22,788	22,709	△ 0.0
保険料	1,005	940	△ 0.1
委託料	9,940	9,702	△ 0.0
採費用	906	940	0.0
調査研究費	584	509	△ 0.1
会議費	1,885	1,999	0.1
諸会費	2,899	2,940	0.0
渉外費	0	0	
租税公課	102	1,030	9.1
通信交通費	7,209	6,949	△ 0.0
雑費	5,772	5,500	△ 0.0
事業連合委託費	27,234	30,179	0.1
物件費合計	164,412	136,604	△ 0.2
事業経費合計	358,495	342,712	△ 0.0
事業剰余金	△ 21,499	△ 7,710	△ 0.6
受取利息	35	0	△ 1.0
受取配当金	33	30	△ 0.1
雑収入	1,066	2,750	1.6
事業外収益	1,225	2,780	1.3
支払利息	79	50	△ 0.4
雑損失	1,640	200	△ 0.9
事業外費用	1,720	250	△ 0.9
経常剰余金	△ 21,994	△ 5,180	△ 0.8
特別利益	91	0	△ 1.0
特別損失	0	0	
特別損益	0	0	
税引前当期剰余金	△ 21,994	△ 5,180	△ 0.8
法人税等	770	800	0.0
法人税等調整額	△ 5,908	0	△ 1.0
当期剰余金	△ 16,856	△ 5,980	△ 0.6
当期首繰越剰余金	△ 25,759	△ 42,615	0.7
当期末処分剰余金	△ 42,615	△ 48,595	0.1

第3号議案

他団体への加入・脱退に関し理事会の議決事項とする範囲決定の件

1 提案趣旨

定款第56条（総代会の議決事項）第2項に基づいて、他団体への加入・脱退に関し理事会の議決事項とする範囲を定めます。

生協の事業や活動を発展させていく上で、有益な他団体に協力・加入していくことは大切なことです。そして、日々めまぐるしく変化する情勢において、これら他団体との関係をすべて総代会で議決しては、業務が停滞したり他団体との友好関係を欠いたりする場合も生じ得ます。このような弊害を避けるため、一定の範囲で理事会にて判断できるよう、その範囲を定めるものです。

定款56条（総代会の議決事項）

この定款に特別の定めがあるもののほか、次の事項は総代会の議決を経なければならない。

(7) 連合会及び他の団体への加入又は脱退

2 この組合は、第3条各号に掲げる事業を行うため、必要と認められる他の団体への加入又は脱退であって、多額の出資若しくは加入金又は会費を要しないものについては、前項の規定にかかわらず、総代会の議決によりその範囲を定め、理事会の議決事項とすることができる。

2 理事会の議決事項とする範囲

次のいずれにも該当する他団体（ただし、生協法に基づく生活協同組合連合会を除く）への加入・脱退を理事会の議決事項とします。

- 1) 定款第3条各号に掲げる事業を行うため必要と認められる。
- 2) 出資・加入金が200万円以下であり、会費が年額80万円以下である。

※1 加入した後に増資すること等により2)の範囲を超えることになる場合は、その増資をする際に総代会での議決を必要とします。

※2 他団体には子会社・関連会社を含みます。

※3 生協法に基づく生活協同組合連合会への加入等は、出資・加入金等にかかわらず総代会の議決事項です。

第4号議案

役員報酬決定の件

1、 役員の年間報酬については、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則に基づいて支給すること、及び各役員の報酬額、支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを決定します。

(1)	理事の報酬	総額	1,000万円
(2)	監事の報酬	総額	50万円

2、 退任する役員への退職金について

2016年5月をもって専務理事を退任する森近佳子（2009年1月から専務理事）に支払う役員退職金について、総額8百万円を上限として、理事会が定める退職金規定にもとづいて支給すること、及び、その報酬額・支給方法などについて理事会に委ねることを決定します。

第5号議案

第53期（2016年度）役員選出の件

定款第18条・第19条及び役員選挙規約に基づいて役員選挙を行います。
理事・監事とも定数内のため、信任投票を行います。

役員定数 理事：12人以上、17人以内
監事：2人以上、4人以内

理事候補			
役員区	氏名	所属等	
教職員理事	寺林 優	工学部教員	継続：理事長
	加藤 みゆき	教育学部教員	新任
	辻上 佳輝	法学部教員	継続：常務理事
	井上 貴照	経済学部教員	新任 元監事
	藤井 豊	医学部教員	新任
	宮本 慎宏	工学部教員	新任
	望岡 亮介	農学部教員	継続
学生理事	森谷 大	教育学部2年	新任
	小西 未祐	法学部3年	継続
	山本 晴紀	経済学部2年	新任
	酒井 善紀	医学部4年	継続
	久門 岳弘	工学部2年	新任
	小山 麻理子	農学部3年	継続
	佐藤 可奈子	農学部3年	継続
	中島 健登	農学部2年	新任
員外理事	大木 積	生協職員	継続
監事候補			
役員区	氏名	所属等	
教職員監事	堤 英敬	法学部教員	継続
	斉藤 和也	経済学部教員	新任
	宮下 真来枝	大学職員	継続
学生監事	田畑 諒	医学部5年	継続

第6号議案

議案効力発生の特

行政官庁等の指示により一部字句の修正を必要とする場合は、決議の趣旨を誤らない範囲において、理事会に一任します。

【提案理由】

法務局、監督官庁等へ総代会報告を提出するにあたり、字句を修正する必要がある場合に備え、今後総代会の決議の趣旨に反しない範囲で、理事会の責任において対処することを定めようとするものです。